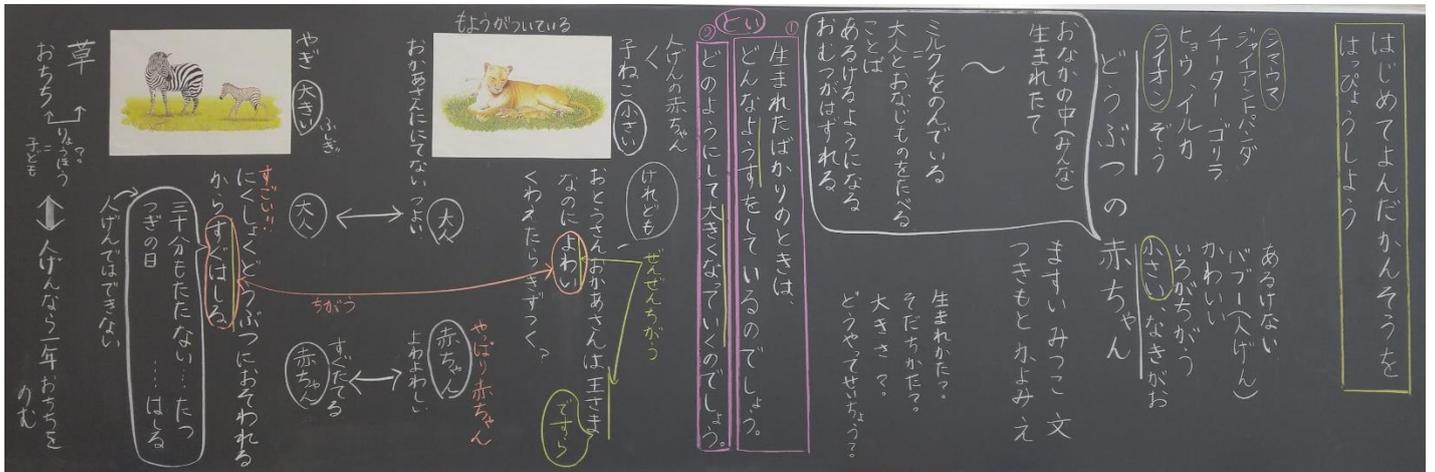


1年 国語 「どうぶつの赤ちゃん」～えらんでくらべて考える～

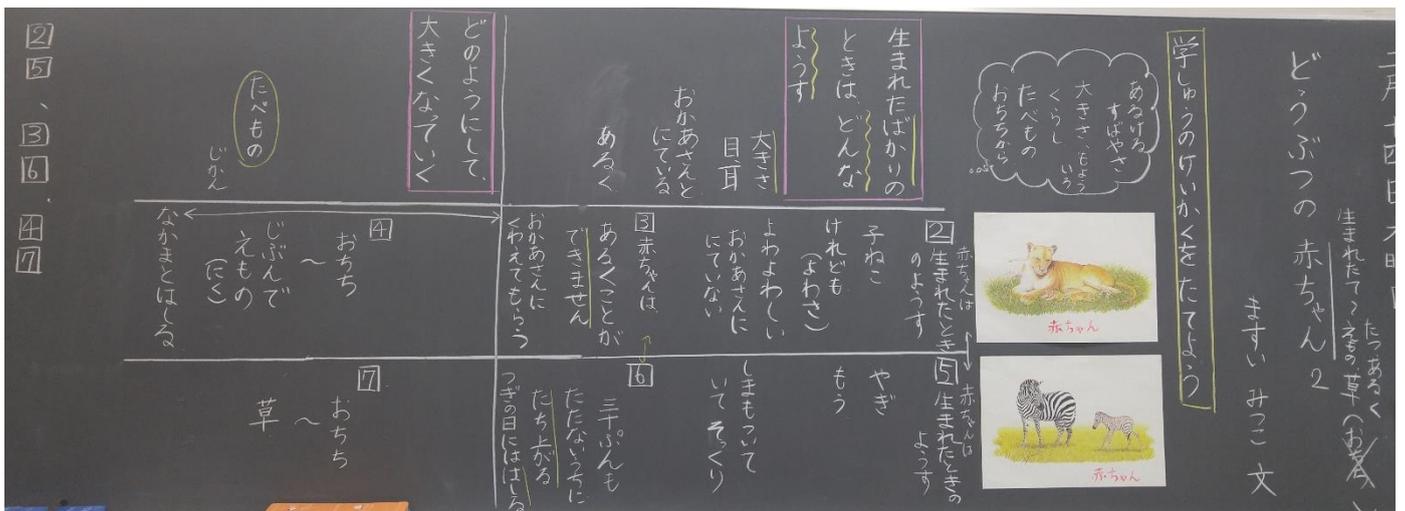
板書と主な学習活動

【1時間目】 単元の見通しを持ち、教材と出合う。



- ・せつめい絵本を書くために学習することを伝えることで、意欲を引き出し、目的意識をもって学習にのぞむ環境をつくる。
- ・題名読み
「赤ちゃんっていつからいつまでかな」と問いかけて、赤ちゃんの終わりは、おちちを飲まなくなる、つまり、大人と同じ食べ物を食べるようになるとき、一人で立って歩けるようになるときと定義する。
- ・問だけ読んで、何についての説明文かを確認する。
- ・不思議だなと思ったことや初めて知ったことを感想に書く。理由も書く。
- ・発表する。

【2時間目】 読み取りの学習計画を立てる。



- ・赤ちゃんの定義を確認する。(生まれたて～歩く、自分で食べる)
- ・初発の感想から、学習の計画を作る。
「説明文を読むのに、何と何を比べて読みたい?」「しまうまとライオンを比べるなら、どの段落を比べると詳しく読める?」と問うことで、大まかな構成をつかむ。その際、理由を言うことで、似ている表現を違う段落から見つけ、比べる観点が見えてきた。(大きさ、目や耳、似ている、自分で歩く、食べ物)
- ・それを整理すると、2段落と5段落、3段落と6段落、4段落と7段落を比べていくとなった。

【3時間目】ライオンとしまうまの大きさ、目や耳、お母さんと似ているかを比べて読み取る。

- ・「生まれたばかり」がライオンとしまうまの赤ちゃんであることを確認。
- ・二段落と五段落の文を上下にした本文を読み、似ているところちがうところに線を引いたことを書く。
- ・様子とは「大きさ」「目や耳」「お母さんと似ている」という観点であることを確認。
- ・二段落と五段落を1文ずつ、わかったことや気が付いたことを発表する。
- ・ライオンの3文目に対応する文がしまうまにない理由を考える。
- ・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃん、どちらがすごいか考える。
- ・ふりかえりを書く。 授業後、ヤギと自分の大きさ比べをしました。 →



【4時間目】ライオンとしまうまが自分で立つ、歩く、移動するまでの様子を比べて読み取る。

- ・めあての「じぶんで」の意味は、「一人で。助けなしで。」ということだと確認する。
- ・三段落と六段落の文を上下にした本文を読み、似ているところやちがうところに線を引きながら、わかったことを書く。
- ・比べて、わかったことや気が付いたことを発表する。
 - 発表の中で、しまうまの1文が気になると発表した児童がいて、そこからなぜその1文があるのかを考えた。
 - 「歩く」という観点は、計画を立てた時に出ていたが、「移動のようす」は出ていなかったもので、途中で何と書いたらいいか児童とまとめた。
- ・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんを比べてわかったことや思ったことを振り返りに書く。
- ・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんのどちらがすごいと思うか書く。

【5時間目】ライオンとしましまの赤ちゃんが自分で食べ物をとるようになるまでの様子を比べて読む。

- ・めあてを書く。
- ・四段落と七段落の文を上下にした本文を読み、似ているところやちがうところに線を引ながら、わかったことを書く。
- ・比べて、わかったことや気が付いたことを発表する。
 - 七日、二か月、一年のイメージがつきにくいので、長い・短いと発言が出たときに、パワーポイントで確認した。
 - 取り方をおぼえるという文については、自分で食べられるようになるまでを詳しくしている文だという発言があり、その一文があるとわかることを話し合った。
- ・ライオンの赤ちゃんとしましまの赤ちゃんを比べてわかったことや思ったことを振り返りに書く。
- ・ライオンの赤ちゃんとしましまの赤ちゃんのどちらがすごいと思うか書く。
 - すごく迷ったという意見が多かった。真ん中が増えた。ライオンの赤ちゃんがえものをとる方法を覚える大変さと、しましまのこれまでの成長の早いこと、この二つで揺れたようだ。



【6時間目】これまで学んできた観点を使って、カンガルーとくらべて読む

- ・カンガルーがライオンとしましまの赤ちゃんどちらに似ているか予想する。
- ・「大きさ、耳や目、似ている、歩く」などどんな観点で読んできた確認する。
- ・教科書に、ライオンの赤ちゃんと似ているところは橙、しましまの赤ちゃんと似ているところは緑と色分けして線を引ながら、気が付いたこと分かったことを書く。
- ・比べて分かったことを発表する。

→ 外にさらされるのではなく、袋の中で安心しておちちが飲めるということが一番、最強！という感想が多かった。特徴でもあると言っていた。

・ 読んだ後、ライオンとしましまのどちらの赤ちゃんに似ているか、書く。

→ 予想から変わった意見の児童「すぐ歩けるところがしましまと似ている」「すぐ（狩りできるようになるまで1年と比較して）自分で草を食べるところがしましまと似ている」「お母さんの袋に守られているから、ライオンに似ている」「目も耳もないからライオンに似ている」

【7時間目】図書館で自分が書きたい動物の赤ちゃんを選ぶ。



・ 本を書くにあたって、観点を確認する。

→ 本だから、「問い」もいる！と発言があり、一緒に問いを確認した。

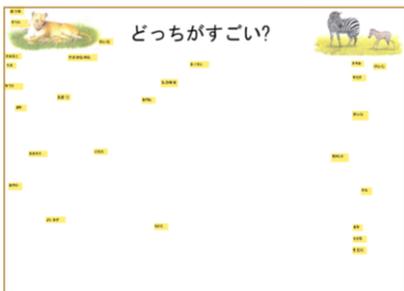
・ どの赤ちゃんを書くか、図書館で探す。

→ まず、図鑑を見て見当をつけてから、詳しく書いている本を探す児童が多かった。

【資料】ライオンとしましまの赤ちゃんを比べて

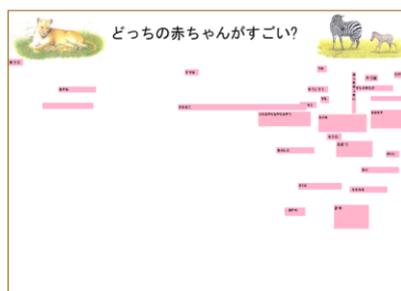
① ライオンの赤ちゃんと

しましまの赤ちゃんどちらが、
すごい学習する前のイメージ



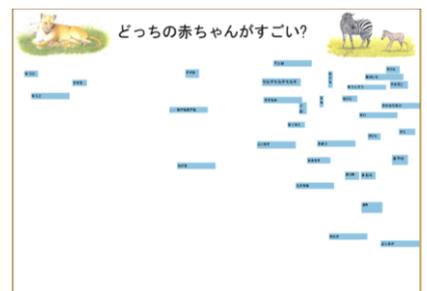
② 大きさ、耳や目、お母さんに

似ているか、を学習した後の
すごい度



③ 生まれて歩き、移動する

ようになるまでの様子を読み
とった後のすごい度



④ おちちだけを飲んでい期間
と自分でえさを食べるよになる
までの様子を読みとった後の
すごい度



⑤ カンガルーの赤ちゃんを読み
とる前のカンガルーの赤ちゃん
に似ている度



⑥ カンガルーの赤ちゃんを読み
とった後の似ている度



